

あらすじ

河童の子どもも「メッケ」が棲むとどろヶ淵には、滝から水が豊かに流れ落ちていて、たくさんの河童たちが棲んでいました。メッケは淵の中でいちばんチビすけでしたが、とてもよく見える目を持っていて、見たことのないものを見つけると夢中になってしまふ子どもでした。

河童の一族は年に一度、水源の竜神沼で『夏越しの大相撲大会』を開いて、その年の頭領を決めるというのが習わしでした。その相撲大会に、メッケは一度も連れて行つてもらつたことがありません。今年も留守番になつてしまつたメッケは、皆が出かけてしまつた淵で異変に気付きます。

いつもは大きな音をたてて流れ落ちている滝の水が落ちてこなくなっています。

「水が止まつた? こんなこと初めて!」

河童にとって水は命。干涸らびたら死んでしまいます。

滝がとまつた原因を突き止めに

メッケは涸れた滝を

登つて行くことにしました。

途中で出会つたのは

女の子河童のソッカと力自慢河童のヨッシャ。

一緒に竜神沼を目指すのですが、興味も性格も随分違う三人は

なかなか気が合いません。

大イノシシからもらつたり、正体不明の黒い影「ウロウロ」に

しかも、不思議な力の石を追いかけられたり、

メッケたちの行く手には謎がいっぱい。

なんとか竜神沼に

たどり着いたメッケたちは、水だけでなく、相撲大会に集まつたはずの河童の仲間達も

消えてしまつてることを知ります。

果たしてメッケたちデコボコトリオは、命の水が涸れた原因を見つける事ができるのか!

ソッカ考

女の子の河童。
河童族の歴史など、昔の事を調べたり考察するのが好き。
「そっか!」が口癖。

見 見 メッケ

とどろヶ淵で一番小さい少年河童。
目がよくて、何かを観察するのが大好き。
「めっけ!」が口癖。

動 ヨッシャ

力自慢の河童。
相撲大会での優勝を目指しているが、ひとり早く出過ぎて迷子になる。
「よっしゃ!」が口癖。

ドキドキわくわくを子どもたちに!

~50日間の願いを~

この物語に人間は出てきません。そこが好きなところの一つです。

たいていカッパの子が主人公だと、人間の子どもとの友情物語だったり、カッパが棲む河の水が突然涸れると原因は人間社会が生み出す環境破壊だったりします。そんなありがちな設定とは全く無縁に、登場するのはカッパと自然界の動物だけです。

大切な命の水を取り戻して仲間たちを救うためにカッパ族の歴史の謎を追って、三匹のカッパの子どもが冒險の旅に出る、この大きなスケールの物語のドキドキを、客席の子ども達に感じて欲しい。

キラキラと陽射し舞う水の中を舞台いっぱいに泳ぎ回るカッパや魚、ウロウロと呼ばれる恐ろしい「黒い影」の人形の登場、高い空から降ってくる大勢のカッパ! 人形劇の思わぬ舞台表現に大人も子どもも一緒にワクワクして欲しい。そんな願いをこめて「メッケ」を創った稽古場での50日間は、チームみんなで模索と実験と歓喜の繰り返しでした。

その成果を、どうぞお楽しみに!

演出: 北村直樹